

明日は今から変えられる

～新しい自分づくり「弱さの克服」～

5 月「嬉しかったこと」

- ・遠足、フィールドワーク、修学旅行で人として大切なことにたくさん気づき、学ぶ。
→協力、本物の挨拶、同級生に尊敬、勇気、他校生に挨拶、安中の看板を背負って、意見を合わせて、プロの掃除、工夫、こだわり、校外では礼儀正しく、やりがい、勉強できることに感謝、全てに感謝、平和のありがたさ、今できることをしっかりと、次の世代へ語り継ぐ、京都の歴史・文化をさらに深く学びたいなど、感想文は素敵な言葉で溢れている。
- ・3 年修学旅行、自然にわき起こる温かい拍手→頑張る人を認め、讃える素敵な行為→友情・信頼へ
- ・お礼の電話→1 年生のファインプレー、住吉橋河川敷で遊ぶ小学 1 年生の安全を気遣い学童クラブまで知らせに行く。さらには学童クラブの方が現地に来るまで待っていてくれた。
- ・バレー部「グッドマナー賞」 →優勝以上に優れた賞、礼儀正しさや気遣いは宝物。
- ・古典芸能教室での心遣い →“片付けをしてくれたのは安宅中がはじめて”
- ・海岸清掃での一致団結 →“やり切った。”、“さすががしい。”
- ・かかとがきちっと揃う下足番号、思わずメモ帳に書き留める。
- ・3 階廊下のカバンの置き方がきちんとしており、教育委員会の方にほめられる。
- ・挨拶が地域の方より絶賛されている。「立ち止まり、相手の目を見て、明るく挨拶」
→今後、挨拶の質を高めたい。→「語先後礼」の挨拶への転換、意識してみてください。
- ・田辺先生、無言清掃になり“掃除が楽しい”
- ・安宅に溢れる温かく、癒やされ、元気が出る言葉
→“いってきます”、“いってらっしゃい”、“おかえり”、“ただいま”、“ありがとう”。“お疲れ様”

6 月

①部活動の集大成

→学校全てが「One for all、All for one」の心で臨む。

→1, 2 年生は 3 年生のためにできることを一生懸命にする。それが明日の自分につながる。

②「4 月の決意文」への再挑戦

→「意志あるところに道はある」

→6 月は、どんな自分になりたいのか、そのために何をするのか、思いを行動にする月である。

→また 6 月は、自分はもちろん、学級や学年、部活動等の課題を改善する月でもある。

③自制心（自分をコントロールする力）

→今後益々、正しい判断と慎重な行動が求められる。

→稚^{ちしん}心を去る。幼さは、いじめのもと。幼い言動、悪口、からかい、冷やかしは、いじめであり許されない。※いじめは、法律に触れる犯罪行為である。



2017. 5. 17(水)

修学旅行実行委員会の皆さん。
平和集会終了後、広島平和公園内
原爆供養塔前にて撮影。

原爆供養塔には身元不明の遺
骨 7 万体が納められている。